

『WHO I AM パラリンピアンたちの肖像』
木村 元彦 編・著
集英社 刊
ブラインドサッカーやシッティングバレーボールなど、ハンディを超えて競技に打ち込む選手たちを紹介。

『いだてん 嗚』
細馬 宏通 著
河出書房新社 刊
金栗四三を中心に、1964年東京オリンピックをテーマにした大河ドラマの感想を書いた一冊。大崎市出身の二階堂トクヨも登場しています。

『五輪スタジアム』
岡田 功 著
集英社 刊
オリンピック終了後のスタジアムは、どう使われるのか。歴代の開催国での運営状況から、東京オリンピック後のスタジアムについて考えさせられます。

『オリンピックを呼んだ男 田畑政治』
近藤 隆夫 著
汐文社 刊
スポーツに対し信念を持っていた田畑政治。アジア初のオリンピック開催に向け活躍した生涯を通してオリンピックの歴史がわかります。

『オリンピックへ行こう!』
真保 裕一 著
講談社 刊
「世界最高のスポーツの祭典に出場したい!」日本代表を目指すアスリートの姿を描きます。手に汗握る試合の場面も圧巻です。

図書館より ☎22-0002

Vol.179 「満喫! オリンピック・パラリンピック」

2021年3月25日に聖火リレーが始まりました。聖火は福島県をスタートし、多くの聖火ランナーとともに121日間をかけて、全47都道府県を巡ります。7月23日に行われる予定の開会式までに、今まで開催されたオリンピック・パラリンピックはどんな大会だったのか、本を読んで気分を盛り上げましょう。たくさんのメダリストやアスリート、競技などを紹介することができるチャンスです。

中止している「おはなし会」の代わりに、希望する子どもを対象に、個別に絵本などの読み聞かせをします。職員までお声掛けください。

FMラジオで市の情報を発信中

FMラジオ : 毎週金曜日 18:30~18:40 77.1MHz
スマートフォンアプリ「radiko」で、1週間前までさかのぼって聞くことができます。

Youtubeチャンネルを開設しました!

動画でも大崎市の魅力を発信しています。

▶「オオサキユノラジちゃんねる」QRコード



▶おおさきエフエム放送: 83.5MHz (http://oosaki-fm.or.jp/) 月~金曜日 ①7:30~7:35 ②12:00~12:05 ③17:50~17:55 土・日曜日 ①8:00~8:10 ②12:00~12:10 ③19:00~19:10

7月の移動図書館「きらり号」

7日(水)・21日(水)	古川清滝地区公民館(9:45~10:30) 真山地区公民館(11:00~11:45) 有備館の森駐車場(13:40~14:25) ウジエスーパー岩出山店(14:50~15:35)
2日(金)・16日(金)	松山駅前区集会所(9:50~10:35) 下伊場野水辺の楽校駐車場(11:10~11:55) 三本木総合支所駐車場(13:40~14:25) 南谷地集会所(14:50~15:40)
6日(水)・20日(水)	大貫地区公民館(10:35~11:35) 沼部公民館(13:05~14:00) ウジエスーパー田尻店(14:25~15:20)
8日(木)	鬼首地区公民館(10:40~11:25) 中山コミュニティセンター(13:05~13:50) 湯めぐり駐車場(14:15~15:00)
9日(金)	松山公民館(9:50~10:35) 鹿島台総合支所駐車場(11:05~12:05) 鹿島台公民館(13:25~14:25) 旧鹿島台第二小学校(14:55~15:25)
14日(水)・28日(水)	鳴子公民館(10:10~10:55) 川渡地区公民館(11:20~12:05) あ・ら・伊達な道の駅(13:30~14:15) スーパーセンタートラスト岩出山店(14:45~15:30)

※悪天候などの事情で、運行を中止・変更する場合があります。

大崎市東北デステイネーションキャンペーン推進セレモニーが開催されました



▲出席者をJR鳴子温泉駅でお出迎え



▲東北DCの成功を関係者で決起

6月5日、JR鳴子温泉駅において、大崎観光・DC推進協議会による「東北デステイネーションキャンペーン(DC)推進セレモニー」が開催されました。

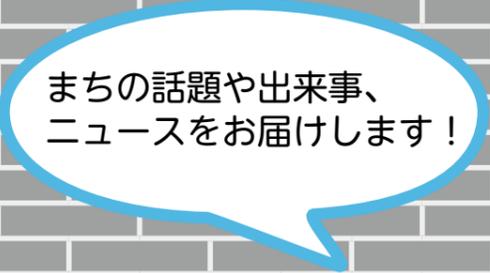
推進セレモニーは、県の「まん延防止等重点措置」が解除されたことから、改めて東北DCを推進することを目的に、市内各地域の東北DC推進協議会委員など約40人が集まり、行われました。

この日は、JR古川駅から「東北のまつり」ラッピング列車に乗車し、JR鳴子温泉駅

で降車した後、各地域の取り組みを紹介しました。

JR古川駅からは、6月1日発売の、大崎市の食材をふんだんに使用した駅弁「宮城おおさき弁当」が大変好評との紹介がありました。また、おおさき宝大使の演歌歌手、水森かおりさんから、「大崎市の魅力を、歌を通して全国に届けたい。東北DCの成功を祈っている」との応援メッセージも披露されました。

東北DCは、9月までの開催期間中、さまざまな体験メニューが計画されています。



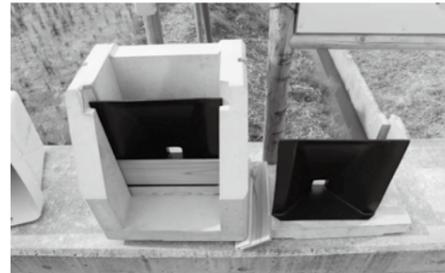
まちの話題や出来事、ニュースをお届けします!

CITY TOPICS

「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」設立総会を開催しました



▲担当者による実証説明



▲県内の水田用に開発されたロータ型堰板

6月14日、宮城県田んぼダム実証コンソーシアム(共同)設立総会を開催し、大崎市長が会長に就任しました。

このコンソーシアムは、近年多発する豪雨災害への対策に向け、水田の持つ雨水貯留能力を最大限に活用し、洪水被害を緩和する「田んぼダム」について、その効果や適地の検証を行うことを目的とし、県内ではじめての取り組みです。

コンソーシアムに参加する会員は、事務局となる県と大

崎市のほか、大崎耕土を構成する近隣の市・町、関係土地改良区、田んぼダムに関心のある地域の農業団体などです。

この日は、新潟大学農学部 宮津進助教を講師に迎え、先進地である新潟県の事例を参考にした講話と、県内の水田に適した落水調整装置について発表されました。

本市では、各土地改良区と連携し、300ヘクタールで田んぼダムを実証するほか、学校教育と連携した体験学習会なども予定しています。